

- 1 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？
- 2 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣鐘状の青銅器を何という？
- 3 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？
- 4 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？
- 5 外敵やけものから守るために、まわりに堀をめぐらせた、弥生時代の集落を何という？
- 6 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？
- 7 古代中国の記録などを通じて、当時の日本（倭）の状況を知ることができる資料のうち、出来事や制度を記録した書物を何という？
- 8 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？
- 9 弥生時代、奴国の使者が金印を授かった、当時の中国の王朝を何という？
- 10 1世紀、後漢の時代に倭の奴国の王が使節を送った際に、その権威を認めて印を授けた皇帝を何という？
- 11 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？
- 12 弥生時代に作られた銅剣や銅矛などの青銅器は、主に何という儀式の道具として発展した？
- 13 福岡県の志賀島で発見された金印を授けた、弥生時代の中国の王朝を何という？
- 14 57年に奴国の使者が訪れ、金印を授けたとされる後漢の皇帝を何という？
- 15 弥生時代の日本が、中国の王朝へ進んだ文化や権威を求めて使者を送り、贈り物や献上品を送る外交形式を何という？
- 16 稲作が普及して富や権力に差が生まれた弥生時代、地域をまとめる存在として現れたまとまりを何という？
- 17 福岡県の志賀島で発見され、1世紀に中国の皇帝から日本の王に贈られたことを示す重要な遺物を何という？
- 18 縄文土器と比べて薄く作られ、煮炊きに適していたのはどのような温度で焼かれたから？
- 19 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、農具や武器として実用的に使われたものを何という？
- 20 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？



① 書く

鉛筆で答えを書く

② 隠して言う

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。		吉野ヶ里遺跡	☐
2	銅鐸 は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。		銅鐸	☐
3	青銅器 は主に銅鐸や銅鏡、銅剣などに鑄造され、それらが高い装飾性を持っていたことから、主に集落の祭礼や儀式、または権力者の威信を示すための道具として使われました。		青銅器	☐
4	鉄器 は主に農具の刃先や、武器としての剣や矛などに加工されました。		鉄器	☐
5			環濠集落	☐
6	卑弥呼 は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。		卑弥呼	☐
7	『後漢書』や『魏志倭人伝（三国志）』などが代表的な 歴史書 です。		歴史書	☐
8	稲作 が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。		稲作	☐
9	57年、九州の奴国の使者が中国の王朝である 後漢 の皇帝を訪れ、朝貢を行いました。		後漢	☐
10	『後漢書』東夷伝によれば、57年に倭の奴国の使者が後漢の 光武帝 に謁見し、朝貢しました。		光武帝	☐
11	後漢の光武帝から授けられたとされる「漢委奴国王」の金印は、江戸時代、福岡県の 志賀島 で農作業中に偶然発見されたと伝えられています。		志賀島	☐
12	青銅器である銅剣や銅矛は、鋭い刃を持ちながらも実用には適さない繊細なものも多く、主に 祭祀 の場で神聖な道具として使われました。		祭祀	☐
13	志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印は、1世紀頃、 後漢 の光武帝が日本の使者に授けたものと考えられています。		後漢	☐
14	光武帝 は、57年に九州の奴国から訪れた使者に対し、朝貢の返礼として金印を授けました。		光武帝	☐
15	朝貢 は、中国の皇帝に対して周辺諸国の支配者が使者を派遣し、贈り物（貢ぎ物）を差し出す外交儀礼です。		朝貢	☐
16	この争いに勝った有力者が周辺の集落を統合し、「 クニ 」と呼ばれる政治的なまとまりを作りました。		クニ	☐
17	1784年、福岡県の志賀島で農夫によって発見されました。		金印	☐
18	高温 で焼くことで強度が上がり、煮炊きに適した薄い土器を大量に作ることができました。		高温	☐
19	鉄は青銅よりも硬く丈夫であるため、刃先として農具（鋤・鍬）や武器（剣・矛・鏃）などに加工されました。		鉄器	☐
20	銅鐸は、このような 祭り の場で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。		祭り	☐

言えなかった用語ノート